

クラブの活躍



大学	
社交ダンス部	西日本モダン戦(10/24) 新人の部 ウイックステップ3位、総合3位 青島章裕(名城)・小林祐子・平岩絵里 第36回東西対抗学生競技ダンス選手権大会(11/7) サンバ優勝・チャチャチャ3位 飯沼敏行・小出由香 第36回中部日本学生競技ダンス選手権大会 学年別戦(1/30) 団体3位 総合3位 堀川玄(名城)・深谷梓
陸上部	名古屋支部陸上競技選手権大会(10/30・31) 100M 組1位(11 58) 今枝信 組3位(12 02) 水野将成 組3位(12 16) 水野寿一 800M 組2位(2 06 26) 佐藤優 1500M 組3位(4 26 04) 佐藤優 4×100mリレー 組2位(45 04) 水野・今枝・水野・佐藤
剣道部	中村区剣道大会(11/21) 第3位 松田有加
ソフトテニス部	平成16年度秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦 大会(10/7~14) 団体戦 3位 第71回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会 (10/29~11/5) 団体戦 2位
ボクシング部	中部学生ボクシング新人戦(11/6~14) ライト級優勝 伊藤豊
なぎなた部	東海なぎなた選手権大会(11/7) 3位 加藤大貴 愛知県なぎなた選手権大会(1/30) 男子の部優勝 加藤大貴
弓道部	第55回三十三間堂全国的全国大会(1/16) 男子新成人の部 優勝 鈴木雅仁
フィギュアスケート部	第77回日本学生氷上競技選手権大会(1/4~6) 2部女子3位 外川亜衣

高等学校	
ソフトテニス部	愛知県高等学校選抜ソフトテニス大会(12/24 豊橋総合体育館) 団体優勝 2年 山口綾香 井上理咲子 阿部愛美 澤木あさ美 黒瀬愛見 森川綾子 1年 大相晴加 長谷沙織梨 東海高等学校選抜ソフトテニス大会(1/14・15 豊橋市総合体育館) 団体第4位 2年 山口綾香 井上理咲子 阿部愛美 澤木あさ美 黒瀬愛見 森川綾子 (*3/29・30の全国高等学校選抜ソフトテニス大会に出場) ハイスクールジャパンカップテニス大会愛知県予選 (2/5 豊田市体育館) 団体第1位 山口・井上組(*6月のハイスクールジャパン カップテニス大会(北海道)に出場) 個人第1位 2年 山口綾香 井上理咲子 第2位 2年 阿部愛美 澤木あさ美 第3位 1年 大相晴加 長谷沙織梨
ギター・マンドリン部	第22回東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル (2/11 津市) 優秀賞 津市教育長賞(特別賞) 2年 池田陽子(指揮)
バントワリング部	第30回バントワリング選手権東海大会 (2/13 愛知県稲永スポーツセンター) ベアの部第3位 1年 深谷美海 水嶋えりか (*3/27の全国大会(北海道)に出場) 第30回バントワリング選手権東海大会(2/13) 選手権の部 ダンスワール第1位・ソロワール第4位・ 愛知県議会議長賞 1年 関谷佑加
放送部	愛知県高校放送コンテストジュニア大会(1/9) アナウンス部門 入選 1年 余語悠里佳 努力賞 2年 長塩彩 朗読部門 努力賞 1年 松下文音
その他	私学協会表彰 実用英語検定1級 1年 田中あおい 実用英語検定準1級 2年 鈴木香澄 陸上競技少年B200M 国民体育大会 2年 川崎聖子 高校生防災お助け隊 2年 岡田佑果 平成16年度愛知県読書感想文コンクール 愛知県教育委員会賞 1年 松下文音

中学校	
バントワリング部	第32回マーチングバンド・バントワリングコンテスト全国大会(12月) ワリング部門中学生の部 金賞
ギター・マンドリン部	第22回東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル(2月) 優秀賞 津市教育長賞(中学生も参加)
その他	第50回読書感想文名古屋コンクール(1月) 優良賞 2年 茂木優子 私学読書感想文コンクール(1月) 優良賞 3年 小川果織 3年 大岩結実 2年 大萱藍子 小野道風公遺徳顕彰会主催第69回県下児童生徒席上 揮毫大会(12月) 中日賞 1年 船橋奈月

●Aikido

愛知淑徳大学 合気道部

合気道部の部員は現在約20人。決まった練習のほか、春と夏に合宿を行い、年に2回、全日本合気道演武大会(東京武道館)で日頃の成果を披露しています。昨年は創部10周年を迎え、歴代OB、OGも参加して記念演武会を行いました。



第10代主将 南谷梢恵さん

合気道部は現在約20人。決まった練習のほか、春と夏に合宿を行い、年に2回、全日本合気道演武大会(東京武道館)で日頃の成果を披露しています。昨年は創部10周年を迎え、歴代OB、OGも参加して記念演武会を行いました。

合気道部は、副学長富安玲子先生、顧問河辺泰宏先生、監督大西誠先生はじめ学内関係者、また名古屋近隣の関係者など300を超える来場者が会場を埋め尽くしました。

合気道の基本姿勢の「半身」で構え、「取り」(技を掛ける人)に投げ倒された時「受け」(技を掛けられる人)は受身で衝撃から身を守ります。技には、関節を極め

合気道を簡単に説明すると、合気道の基本姿勢の「半身」で構え、「取り」(技を掛ける人)に投げ倒された時「受け」(技を掛けられる人)は受身で衝撃から身を守ります。技には、関節を極め

合気道部は、副学長富安玲子先生、顧問河辺泰宏先生、監督大西誠先生はじめ学内関係者、また名古屋近隣の関係者など300を超える来場者が会場を埋め尽くしました。

合気道は、心身の練成を図ることを第一の目的とし、お互いの習熟度にあわせて技を繰り返して稽古します。合気道を学ぶ意志さえあれば、年齢、性別、職業、国籍を問わず稽古ができ、大学の理念である「違いを共に生きる」を経験することができます。

愛知淑徳大学合気道部初代から現役部員までが「丸」となって昨年11月28日、愛知淑徳大学合気道部創立十周年記念行事演武会並びに祝賀会を開催しました。演武会は本学長久手キャンパス体育館、祝賀会は藤が丘の本テリ名古屋サンプラザ。

部員演武ではこれまでの10年の歴史を礎に、この伝統を将来にわたって繋いでいくという行事の主旨に基づき、すべて現役学生とOB・OGが組んで演武を行いました。お互い稽古時間の調整が難しく、少ない合同稽古の機会ではありましたが、憧れの先輩と一緒に練習できる喜びと、力強い指導で集中することができ、当日の演舞は忘れられない思い出となりました。最後に、本学師範である栗

林孝典本学道場師範の力強い演武で演武会を締め括っていただきました。合気道は、心身の練成を図ることを第一の目的とし、お互いの習熟度にあわせて技を繰り返して稽古します。合気道を学ぶ意志さえあれば、年齢、性別、職業、国籍を問わず稽古ができ、大学の理念である「違いを共に生きる」を経験することができます。

(第10代主将 南谷梢恵)